



岡崎市のエネルギー施策について

環境部ゼロカーボンシティ推進課 蜂須賀功

1 目標

岡崎市地球温暖化対策実行計画
(区域施策編・事務事業編)

2 主な事業

(1) 先行地域事業

(2) 重点対策加速化事業

(3) 公用車EVカーシェアリング事業

(4) その他の事業

温室効果ガスの削減目標

2030年度 **50%減** (2013年比)

2050年度 **温室効果ガス排出量 実質ゼロ**

再生可能エネルギー導入目標

(2020年度 117 MW)

2030年度 **196 MW**

2050年度 **471 MW**

本計画で目指す将来像

へらす

- ・エネルギー負荷を減らす！
- ・光熱費を減らす！
- ・気候変動のリスクを減らす！
- ・エネルギーの海外依存のリスクを減らす！

つくる

- ・地産エネルギーをつくる！
- ・脱炭素な建築物をつくる！
- ・脱炭素の新しい産業をつくる！
- ・コンパクトなまちをつくる！
- ・豊かな森をつくる！

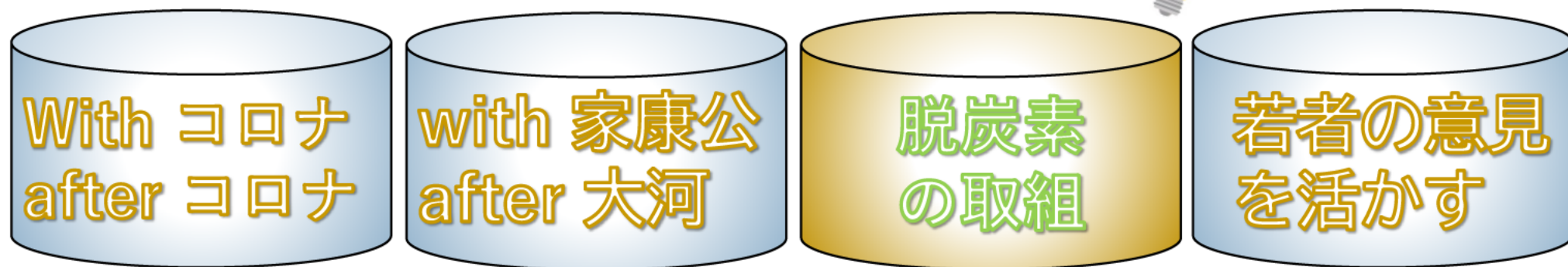
ためる

- ・余ったエネルギーを貯める！
- ・エネルギー資産を貯める！
- ・森林でCO₂を貯める！

温室効果ガスの削減目標				
項 目		基準年度 (2013年度)	目標年度 (2025年度)	参考年度 (2030年度)
温室効果ガスの 排出量 (廃棄物除く)		68,054 t-CO ₂	45,753 t-CO ₂	37,987 t-CO ₂
削減率		—	33%	44%
内訳	コーク ス以外	50,208 t-CO ₂	31,476 t-CO ₂	24,602 t-CO ₂
	削減率	—	37%	51%
	コーク ス	17,846 t-CO ₂	14,277 t-CO ₂	13,385 t-CO ₂
	削減率	—	20%	25%
温室効果ガスの 排出量 (廃棄物)		47,784 t-CO ₂	43,006 t-CO ₂	40,616 t-CO ₂
削減率		—	10%	15%
温室効果ガスの 排出量 (合計)		115,838 t-CO ₂	88,759 t-CO ₂	78,603 t-CO ₂
削減率		—	23%	32%

取組に関する重点目標	
1	太陽光発電の最大限の導入 (再生可能エネルギーの最大限の活用に向けた取組)
2	新築建築物のZEB化 (建築物の建築・管理等に当たっての取組)
3	電動車の導入 (財やサービスの購入・使用に当たっての取組)
4	廃棄物の発生抑制、再資源化の推進 (その他の事務事業に当たっての温室効果ガスの排出の削減等への配慮)
5	職員に対する脱炭素意識の向上 (ワークライフバランスの確保・職員に対する研修等)
6	地球温暖化対策計画の施策に準じた行動の推進

～ 4つの柱 ～

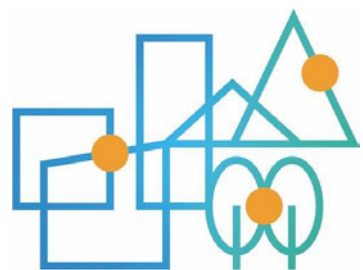


～with家康公 after大河 7つの取組～

- 1 「家康公と江戸と八丁味噌のふるさと岡崎」を世界に発信し、岡崎愛を醸成
- 2 大河ドラマを通じた経済の好循環の創出
- 3 江戸のまちのシステムを活かした
脱炭素などの循環型まちづくりの推進
- 4 家康公と繋がりのある人物などの歴史研究
- 5 江戸の食と暮らしを伝承した健康寿命の延伸
- 6 社会の宝を地域で育て、歴史を紡ぐ子育て支援
- 7 未来の主人公である若者の意見を反映した「岡崎公園のあり方」の構想

2-1 脱炭素先行地域の概要

提案者	岡崎市・愛知県・三菱自動車工業(株)
タイトル	「どうする脱炭素？岡崎城下からはじまる、 省エネ・創エネ・蓄エネ・調エネのまちづくり」
対象地域	乙川リバーフロントQURUWA戦略地区内の 7町内会全域
主なエネルギー需要家	戸建住宅510戸 集合住宅16棟（395戸） 民間施設302施設 公共施設 7 施設



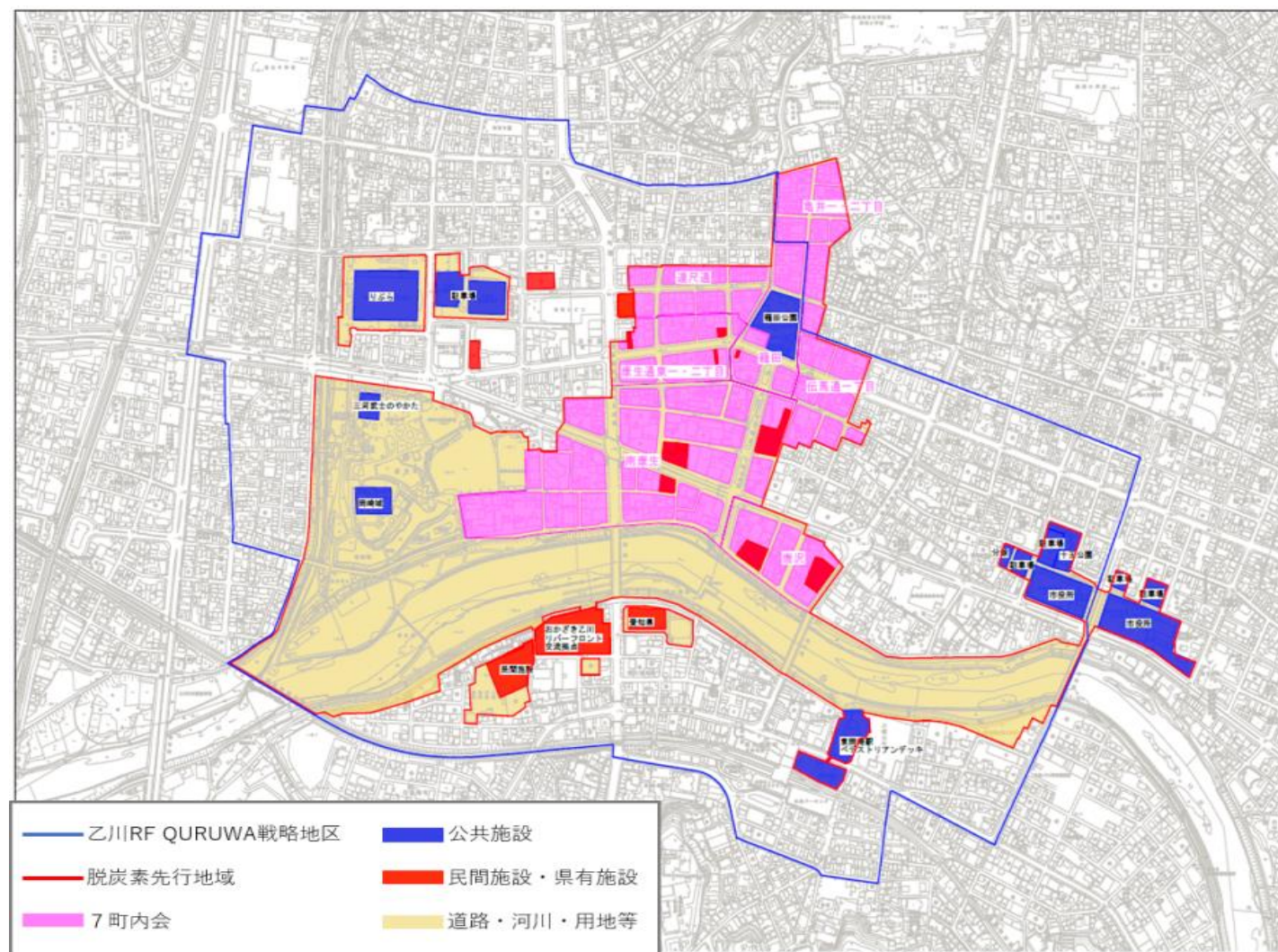
脱炭素先行地域
愛知県岡崎市

ロゴマーク



選定証授与式

先行地域の区域図（乙川リバーフロントエリア）



2-2 取組の全体像

地域特性 非常に高い町内会加入率（約90%）

地域特性を活かす

◆町内会活動を核としたPV・蓄電池の最大限の導入
⇒PPA、リース、購入など幅広い選択肢を検討
敷地内に駐車スペースがある場合はV2Hも推奨

◆エネファーム+カーボンニュートラルGAS
⇒エリア内のエネファームを一括管理し、地域新電力会社と
需要家双方にメリット

資源の有効活用・産業構造の転換への契機

◆三菱自動車との連携



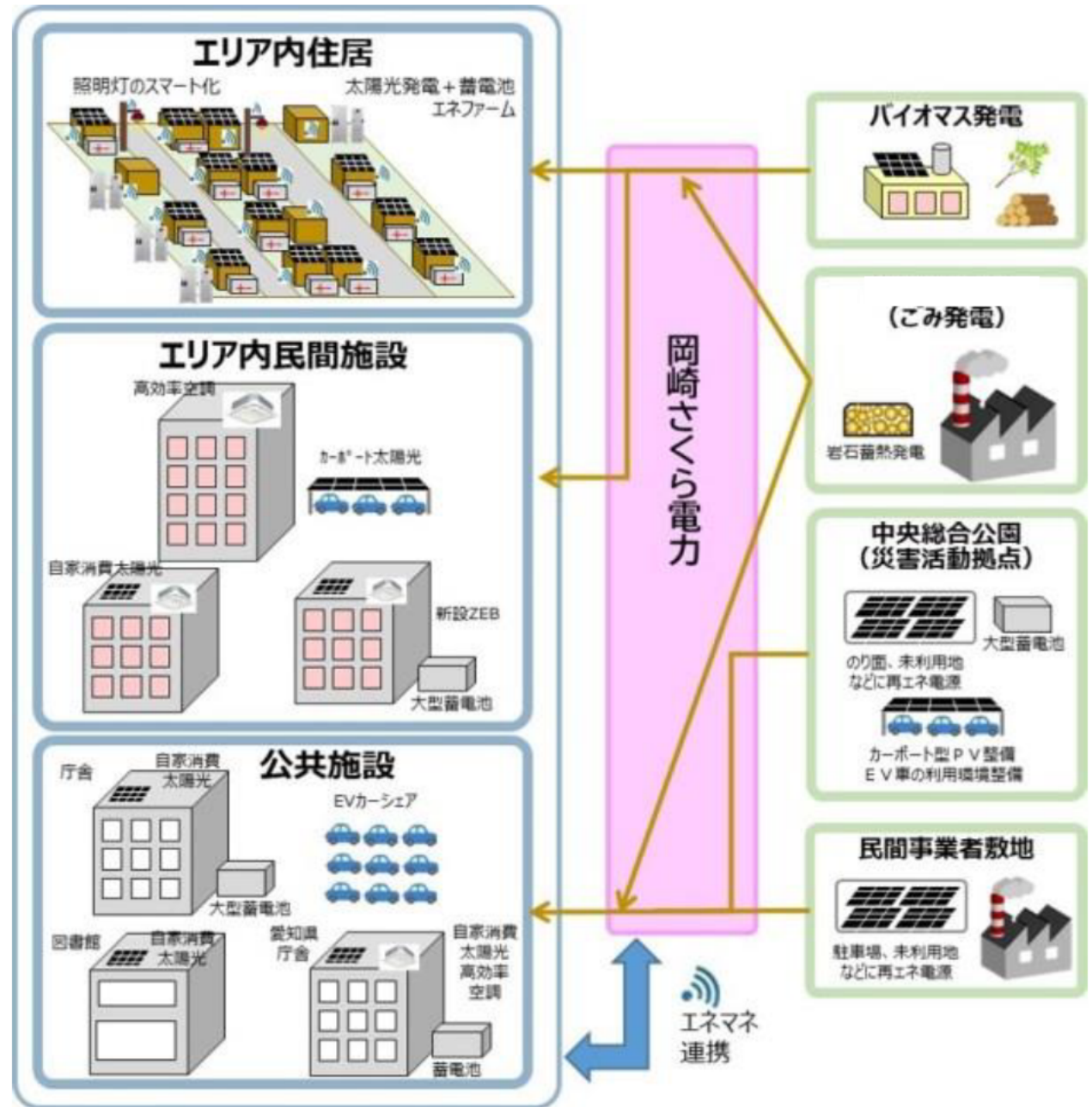
資源の有効活用
サプライチェーン全体の環境負荷低減

公用車のEV化と活用

◆カーシェアリング
（市民、企業、観光客など）
◆ゼロカーボンイベント

（株）岡崎さくら電力

◆事業収益の一部を子育て
支援・空き店舗対策などの
地域貢献事業に活用



2-3 公用車EVカーシェアリング事業

事業の基本方針

①脱炭素な生活様式への転換促進

②市の事務・事業による温室効果ガスの削減

③再生可能エネルギーの活用

④地域経済の活性化

⑤GX（グリーントランスフォーメーション）及び
DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進

期待する効果

- ・ EV公用車の台数を大幅UP（公用車25台あたり 1 台 ▶▶▶ 4 台あたり 1 台）
 - ➡ 温室効果ガスの削減
- ・ 蓄電池の代用品としての活用
 - ➡ 災害時の使用でレジリエンス強化 & イベント時の使用で脱炭素啓発
- ・ 休日や夜間の市民への貸出
 - ➡ 車両の有効活用と市民へのゼロカーボン・ドライブ普及
- ・ エネルギーマネジメントによる車両充電の効率化
 - ➡ 充電による電気代上昇の大幅抑制



eKクロスEV

提案者	岡崎市
タイトル	どうする脱炭素？市内に広がる、省エネ・創エネ・蓄エネ・調エネのまちづくり ～岡崎市脱炭素ドミノ 第2幕～
対象地域	岡崎市全域



◆市民・事業者への再エネ発電設備等の補助を大幅拡充

補助項目	件数
太陽光パネル	300件
蓄電池	300件
エネルギーマネジメントシステム	300件
高効率空調	30件
高効率照明	50件

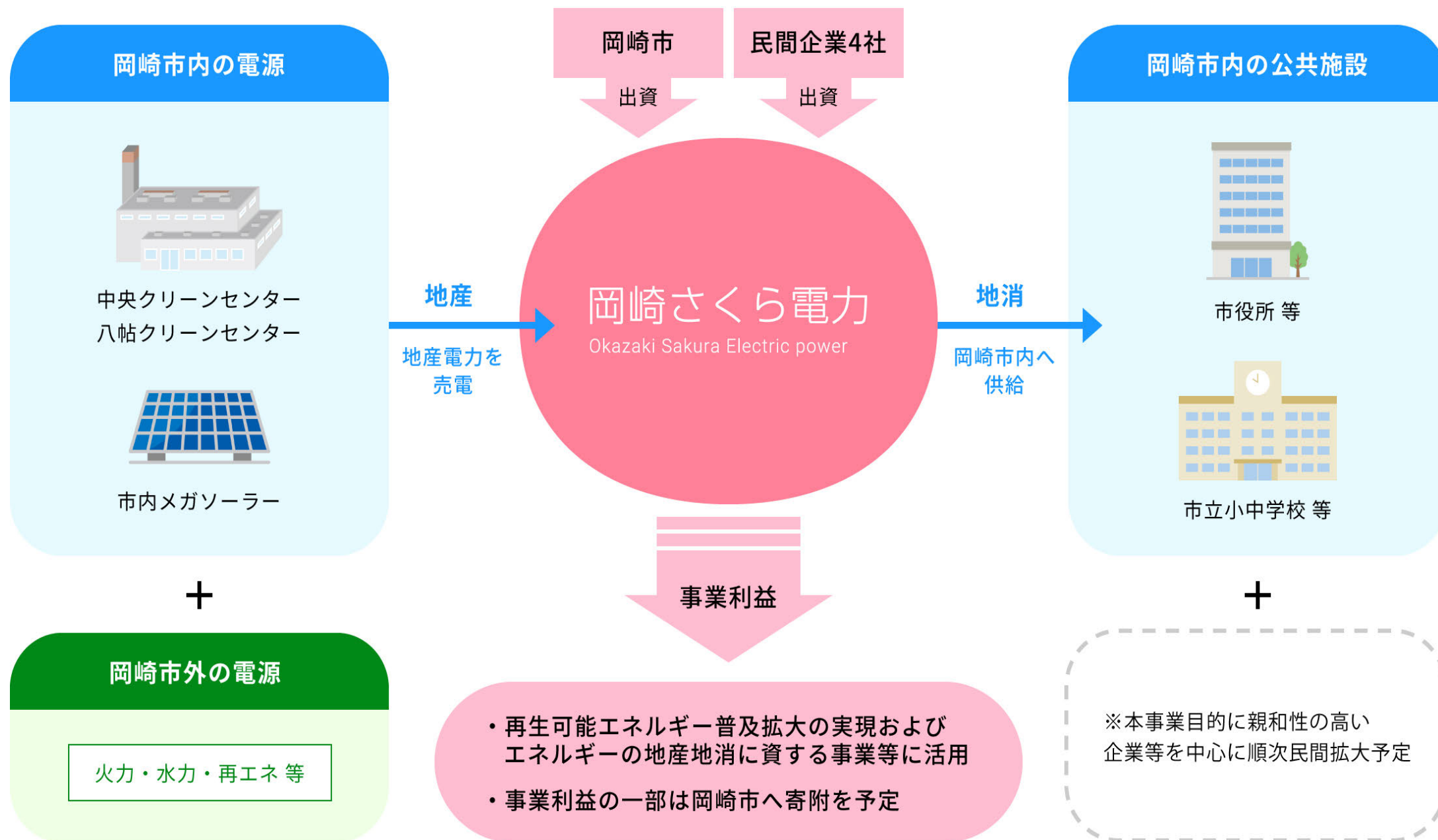
(R5年11月時点の予定)

◆公共施設への再エネ発電設備等の導入

補助項目	施設数
P P A 方式（発電規模50kW以上）	18施設（68建物）
リース方式（発電規模50kW未満）	16施設（30建物）

(R5年11月時点の予定)

◆促進区域の設定
「建物の屋上や屋根及び自家消費するにあたり建物の敷地内の土地」（今年度末設定予定）

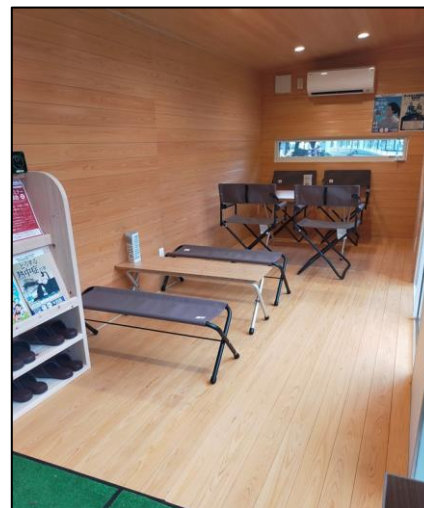


【目的】

- ・家のエアコンの使用を減らすことによる家庭における省エネ
- ・省エネによる地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出削減
- ・極端な高温時における熱中症被害の発生防止

【期間】

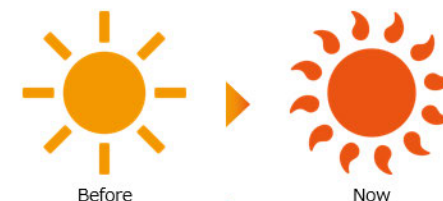
令和5年7月1日（土曜日）～令和5年9月30日（土曜日）



大河ドラマ館横に設置したクーリングシェルター

※トレーラーハウスを改造

クールシェアスポットでひと休み。



省エネ・脱炭素 × 熱中症対策

クールシェアおかざき

2023



7/1～9/30

クールシェアスポット（17施設）

岡崎公園内クーリングシェルター（康生町）	南部地域福祉センター（下青野町）
岡崎市役所（十王町）	北部地域福祉センター（岩津町）
額田センター・こもれびかん（榎山町）	中央地域福祉センター（梅園町）
シビックセンター（羽根町）	岡崎げんき館（若宮町）
図書館交流プラザ「りぷら」（康生通）	わんパーク（淡洲町）
高齢者センター岡崎（美合町）	奥殿陣屋（奥殿町）
東部地域福祉センター（山綱町）	岡崎地域文化広場（岡町）
西部地域福祉センター（宇頭町）	※上記以外の施設でも、休憩等できる公共施設があります。
市内ウエルカフェ	
ウエルシア岡崎上地店（上地3丁目）	ウエルシア岡崎医療センター前店（柱町）

岡崎市環境部ゼロカーボンシティ推進課 TEL:0564-23-6786

岡崎市は、
2023年大河ドラマのまち
2050年ゼロカーボンシティへ



岡崎市 環境部 ゼロカーボンシティ推進課
電話0564-23-6401 FAX0564-23-6536
zerocarbon@city.okazaki.lg.jp